



積極的なおたすけ 目配り、心配りを

2月大教会教会長会議

立教187年2月22日

大教会長 片山幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R240223-0228-18
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)
<https://www.honjima.com>
Email: webmaster@honjima.com
大教会 朝夕おつとめ時間
【2月16日～3月31日】
朝づとめ 午前6時45分
夕づとめ 午後6時30分

連絡事項をいくつか申し上げます。
まず一点目「おさづけの理」拝戴について。これまでは内統領室より大教会に拝戴できる日と人数の連絡があり、詰所主任より該当者に声をかけ、本部へ願い出ておりました。

今後は、あらかじめこちらから希望日を内統領室へお伝えすることができるようになりました。以前より準備しやすくなり、ありがたいことだと思います。ただし希望日にお運びがあるかどうかは分かりません。希望通り運べないことが分かりましたら、すぐお知らせします。

二点目は、葬儀の祭儀が一部変更されることになりました。

このたび変更されたのは、「祓」および「玉串奉獻」の廃止と服装について「教服も可とする」というものです。

これに伴いご本部では、みたまうつしと葬後霊祭での「祓詞奏上」と

「大麻行事」、「葬後祓」が取りやめになるとともに、葬儀全体にわたって斎主および参列者による「玉串奉獻」が廃止。重服、浄衣、明衣、装束師服などの斎服がない場合、教服での葬儀執行が可能となります。

なお、「おつとめ及び祭儀式」改訂8版は、2月26日から、道友社おやさど書店で販売されます。定価は550円(税込)です。

三点目は、本部境内掛について。

現在、境内掛を勤める方が年々減少傾向にあるそうです。そこで26日の月次祭には境内掛OBも勤めてほしいとの要請を頂いております。

境内掛勤務の対象年齢が、昔は35歳以下でしたが現在は60歳未満と対象年齢が上げられています。

また現在、女性も境内掛に入っておられます。女性の場合、おもに南支所(インフォメーションセンター)での日勤になります。

境内掛勤務はおちばの大切な御用ですので、今後も個別に声をかけさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひします。

最後に一点。ただいま年祭活動を

歩んで行く心定めに「積極的なおたすけ」があります。「積極的」というのが大事なポイントだと思います。積極的に時間を作り、積極的にアテナを張って目配り心配りをする。教祖は常に先回りしてお働き下さっています。

私達も積極的に教祖の道具衆として働かせて頂きましょう。ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)



各々の心定めと実行を 各々の教祖年祭の歌にしよう

大教会役員

井上 哲

只今は2月月次祭を陽気に一手一
つに勤めさせて頂きました。誠に
おめでとございました。

ご指名を頂きましたので神殿講話
を勤めさせて頂きます。
教祖140年祭、年祭活動の第2年目
も早2月の終盤となりました。
いつも母が言っていた言葉を思い
出します。それは「一月往ぬる。二



月逃げる。三月は去る」です。

これは年の初めから3月くらいま
では、何かと用事が多くて、あつと
いう間に時が過ぎていく、という意
味のようです。

これを三年千日に当てはめたら、
「二年目は往ぬる」となります。この
一年間、果たして自分自身はどうで
あったか。ポーンとしていたうちに
1年目は往ってしまったのではな
かったか。心定めの実践も十分では
なかったと反省しつつ、2年目が逃
げてしまわないよう、改めて心を引
き締めている次第です。

さて、本部のたすけ委員会委員長松
村義司先生は、1月25日の集い(教祖
140年祭教会長夫妻おたすけ推進のつ
どい)にて「今回の年祭活動は、それぞ
れの教会、ようぼくが、自分で目標を

掲げて実践し、成人しよう。それをもつ
て、教祖にお応えしよう」と仰せられ、
お道全体が実動しています。

これは「私も何かさせて頂こう」と
いうことです。
年祭活動2年目、もうすでに皆様
方も、それぞれにお定めになった目
標に向かって、日々実動されている
ことと思います。

そのような中、ここで昨年の大教
会秋季大祭における宮森与一郎先生
の神殿講話を振り返らせて頂きたい
と思います

先生はお話の中で、ご自分の布教
道中にあつたお父上とのお話に触れ
ながら、貴重なお話をして下さいま
した。

それは「日々のにをいがけ」「積極
的な(機を逃さぬ)おたすけ」「おちば
の理を戴く」この3つのポイントを実
行して、年祭活動を歩むことです。

「日々のにをいがけ」とは、ふわつ
としたものでいい。軽いものでいい
から毎日心がけて、教祖の匂いをか
けること。

二つ目は「機を逃さないおたすけ」。
ここ一番、この人をたすける。身上
で苦しむ人があつたら、おさづけを
させてくれと頼む。事情で苦しむ人

があれば、どうかお願いごとめでた
すけてほしいとお願いさせて頂く。

三つ目は「おちばの理を戴く」。た
すけの元であるおちば、へしっかり心
をつなぎ、この人をおちばへ何とし
ても連れ帰ろうという努力。おち
ばの理を戴いて、ご守護を戴く。と
いうことであつたと思います。

そして宮森先生は「どうかこの三
つをあと2年、教祖140年祭まで心
置いてお通り頂きたいと思ひます」
と締めくくられました。

にをいがけとおたすけの実行、そ
しておちばの理を戴くこと。特に
おちばの理を戴くということは、改め
て大切なことと肝に銘じた次第です。

ここで私にあつた小さい出来事、
思い当たることがありましたのでお
話させて頂きます。

昨年6月24日におちばの大裏地区
の田んぼで田植えのきしんをさせ
て頂きました。

教祖ご在世当時と変わらぬ田んぼ
の土の匂いや泥の感触を私達にも実
感してもらいたい、そして何よりお
ちばへの伏せ込みを皆で実行しよう
との大教会長様の思いを頂いて、本
島大教会初めてのおちばでの田植え

でした。

私は田植えの前日、23日に自教会で準備をして間もなく出発というときに、ふと玄関を歩くと、目の前の田んぼで一人の方が田植えをしておりました。

私がお預かりしている教会は、玄関を出ると目の前に田んぼが広がっております。左も田んぼ、後ろも田んぼです。

この日、田植えをしていたこの方は、おそらく80歳くらいの男性で、5年程前に田んぼを人から譲り受けられたようで、それは毎日、年中朝から夕方まで一人で農作業をされておられ、私は「まだやっつてる、寒いのに、暑いのに、よくこんな毎日毎日一日中出来るなあ」と少し驚きの眼差しで見えておりました。

ただ何処のどなたかは、お隣や周囲の田んぼの誰に聞いても知らないし、誰かと話しているのも見かけたことはなく、それでも目の前で農作業されますので、にをいがけにつながればと、見るたびに声をかけ続ければいつかお話ができるだろうと、声をかけ続けましたが、まったく振り向きもしないし、目も合わせようとしないう。たまにチラッと見てくれ

ますが、にらんでいるようで、知らんふりでとうとう5年が過ぎました。

しかしおちばでの田植え前日のこの時、手植えで苗を一本ずつ植えているこの方に会いました。前日にコンバインという機械を使って田植えを済ませておられたようなので、ほとんど田植えは終わっているのですが、よく見るとコンバインが入れなかった隅っこを、稲一本ずつ手植えしておられました。

私は駄目元でも良いからと思いついて、「おはようございます。私今から奈良の天理教で田植えをしますが、初めて田植えします。簡単そうに植えてらっしゃいますが、どうやるのですか」と声をかけてみました。すると振り返ってくれたのですが、案に相違して満面の笑みでした。私の方が少し驚いたくらいです。

「お前、田植えやるんか」と返事してくれて「これはこうやるんや」と、そればかりか「自分は徳島県から来たので、この辺の人とはあまり馴染みがない」「ここが天理教なのは前から知っていた」など田植えもさることながら、ひととき話すことができました。最後に「手を止めさせてすみませんでした」と言いますと「声

をかけてくれてありがとう」と言うて下さいました。

私はこの時「あっ、これはおちばの理だ」と思わずにはいられませんでした。

奇しくも大裏田植えひのきしんの前日、教外の人に道を伝えなければというこの時に、教祖が背中を押して下さった、おたすけのきっかけを戴いたのだと思わずにはいられませんでした。

留守がちな私ですが、それから時々玄関に収穫された野菜などが置かれていたことがありましたので、ありがたくお供させて頂いております。段々にお話を取り次ぐことのできるようになると願っていますが、宮森先生が仰せられるように、「しよつちゅう声をかけて、すぐ帰る」ようにして続けていこうと思えます。本当におちばの理、ありがたいことでした。

さて、私の教祖年祭の記憶は教祖70年祭からです。

教祖70年祭が執行されましたのは、今から68年前のことです。その3年前、昭和28年に「おやさとかた」構想が発表され、翌29年に起工式、昭和30年(教祖70年祭の前年)に第1期工事完了、真東棟を含めて東の5棟

が完成し、10月26日「おやさとかた開き」「別席場使い初め」とされ、この日一日の別席者1万2千332人は過去最高でありました。

当時、私は7歳で、昭和30年の「おやさとかたひのきしん」に参加しておりました。と申しますのは、今から22年前の本島大教会創立100周年記念祭のときに「ほんじま百年展」が開催され、その写真展の中に、建ち上がった「おやさとかた」を背景にした集合写真がありました。当時「おやさとかた」に参加した本島大教会の方々の集合写真でした。

片山ハル親奥様、三代会長様ご夫妻を初め、数百名の方が写っています。その左の前列に小学1年当時の自分を発見し、目を凝らしてよく見



昭和30年、おやさとかたひのきしん隊

ますと、本島の祖母、両親と私達兄弟、叔父叔母などが写っており、これまで家族が揃っている写真は見たことがありませんでしたので、とても感動しました。

当時年祭は1月26日から2月18日までが年祭期間とされ、毎日「かぐらづとめ」が勤められました。

最後に私の興味があることで恐縮ですが、教祖年祭の歌のことです。

これまで年祭ごとに「教祖年祭の歌」が作られました。

天理教音楽研究会の資料によりますと、教祖年祭の歌が初めて出来たのは教祖60年祭(昭和21年)でした。

資料には「年祭の歌」は、ようぼく信者がご存命の教祖に、その時々心の成人をご覧いただくべく、勇んで歩みを進め、明日に向かって門出す「心の糧」として、口ずさまれて歌われてきた。詞や曲には、その時代のお道の雰囲気が進められていて、何とも言えない深い味わいがある」と記されています。

教祖60年祭の曲名は「教祖六十年祭奉祝歌」となっています。ふりかなも付いていて「をしえのおやむとせのまつり ほぎうた」。作詞は

村田英雄、作曲は永井幸次となっています。

年祭の喜びを「奉祝歌」としているところに、当時の先人の、年祭を迎える喜びと、お道の雰囲気が込められているように思います。

年祭の歌は教祖60年祭から教祖130年祭まで作られ、どの年祭の歌にも素晴らしい歌詞が付いているのですが、このたびの教祖140年祭イメージミュージック「旬の風」には歌詞がありません。これはなぜかな、と思つたことはありませんか。

これは私の勝手な考えですが、ひよつとすると教祖140年祭の歌の歌詞は、一人ひとりの心定めと実行を、それぞれ歌詞を付けてみては、というところも知れないかと秘かに思っております。いかがでしょうか。

親神様は、人間の目は遠くが見えるように身体の高いところに付けて下さっていますが、足は一歩ずつしか前に進めないようになっています。

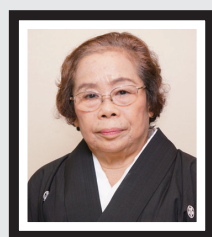
教祖140年祭、年祭活動の2年目、この時を緩むことなく、滞ることなく、目標をしっかりと見据えて、一歩ずつ進ませて頂ければと思います。ご清聴ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

訃報

本千房分教会長 山本政美 姉

山本政美 姉(本千房分教会2代会長)は去る令和6年2月1日午前7時38分お出直しにな



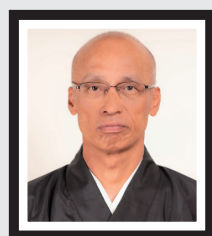
りました。享年90歳。

葬儀はみたまうつしを2月6日午後6時より、告別式を翌7日午後1時より、千葉県船橋市の葬祭場にて吉田晴雄本千代分教会会長齋主のもと執り行われました。告別式に大教会長が参列されました。

山本政美 姉略歴 昭和8年10月4日生まれ。昭和41年6月21日、おさづけの理拝戴。同年6月28日、修養科第300期修了。昭和47年9月16日、教会長資格検定合格。同年10月16日、教人登録。昭和48年1月26日、本千房分教会長拝命。立教63年1月22日、婦人会本島支部委員。昭和59年11月22日、大教会神殿奉仕人。教会長在職期間51年間。

文峰分教会長 肥後 章 氏

肥後章 氏(文峰分教会3代会長)は去る令和6年2月17日午前4時55分お出直しになりました。享年59歳。



葬儀はみたまうつしを2月18日午後6時より、告別式を翌19日午前11時より、熊本県八代市の葬祭場にて向所隆文赤峰分教会長齋主のもと執り行われました。告別式に大教会長が参列されました。

肥後章 氏略歴 昭和39年3月1日生まれ。昭和57年1月7日、おさづけの理拝戴。昭和61年3月15日、天理大学卒業。大教会青年づとめ。立教52年4月27日、教人登録。同年5月21日、教会長資格検定合格。同年7月26日、肥後八峰分教会3代会長拝命。同年11月22日、大教会神殿奉仕人。立教55年1月22日、青年会本島分会委員。立教57年10月13日、岡崎良子と結婚。立教61年9月より修養科第689期一期講師。立教64年1月22日、少年会本島団育成委員。同年10月22日、大教会法人部委員。立教75年4月1日、熊本教区不知火支部長。立教79年8月14日、赤峰分教会責任役員。立教81年1月26日、文峰分教会3代会長拝命。立教83年12月22日、本島大教会おとめ修練部部員。教会長在職期間34年7ヶ月間。

二月月次祭 祭典役割

献饗長 西山道教
伝供 岩橋竜造・向所隆文・永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・高垣光治・片山直明・茶屋原良昭・横山正次・高島栄造・長濱充憲・岩橋守行・窪田卓夫・香川勝巳・白垣初生・宮路和徳・
 鎌田典夫・木村太喜・上山康雄・滑川善久・大矢万三・村田輝夫・川村吉夫・溝口晋太郎・江草克二
雅楽奉仕者 文岡育則・池田恒治・片山秀明・伊東賢太郎・鎌田康典・伊東慎平・白垣俊生(順不同)

祭主 指図方	大教会長		座りづとめ		てをどり前半		てをどり後半	
	井上哲	厩者	片山勲	老木邦光	賛者	雲庵春彦	横山富明	
地方	老木邦光 西山道教 平井真治郎	向所隆文 永島宗行 片山直明	伊東康成 岩橋守行 香川勝巳	てをどり後半	てをどり前半	てをどり後半	てをどり前半	てをどり後半
てをどり	大教会長 片山勲 岩橋慶三 會長夫人 長尾澄子 片山孝代	篠原丕王 永山晴明 後藤正治 岡崎むつゑ 永山みすゞ 高垣洋子	原口実 岩橋秀一 江草克二 片山美穂 梅木澄代 菅岡和美	てをどり後半	てをどり前半	てをどり後半	てをどり前半	てをどり後半
ちやんぼん 拍子木 太鼓 すりがね 小鼓 三味線 胡弓	岡崎八十則 雲庵道延 窪田靖明 寺本教生 牧野道昭 岩橋竜造 片山やすゑ 池田さわみ 向所暉美子	高垣光治 奥村龍夫 長尾海和 大上道徳 横山正次 茶屋原良昭 井上みつの 原口和子 伊東晴美	吉田知彦 長濱充憲 窪田卓夫 大矢万三 木村太喜 田中丸勝也 谷口十糸子 四辻朝恵 加藤道代	てをどり後半	てをどり前半	てをどり後半	てをどり前半	てをどり後半
神殿講話	井上哲							

二月月次祭祭文

立教百八十七年二月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王
 命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎ん
 で申し上げます

親神様には広く篤き親心のまにまに日夜絶え
 間なくお見守り下さり常に変わらぬ御守護と
 旬々のお仕込みにより一れつ子供の成人と共に
 に陽気ぐらしへの道にお導き下さいます果て
 しなき御慈愛の程は誠に有難く勿体ない極み
 でございます

私共はこの御高恩を忘れることなく常に御教
 えの元一日に心を正し思召し下さる世界たす
 けの御用にお使い頂けるよう日々勇んで努め
 させて頂いておりますがその中にも今日の吉
 き日は当大教会の二月の月次祭を執り行う日
 柄を迎えましたので只今から役目に与るおつ
 とめ奉仕者一同心を一つに揃え座りづとめて
 をどりを陽気に勇んで努めさせて頂きます

御前には今日を樂しみに帰り集いました教え
 子達と共に心を一つに結び合わせおつ
 たを唱和して尚も尽きせぬ御守護にお縋りす
 る真実の状をも御覽下さいまして親神様にも
 お勇み下さいますようお願い申し上げます

尚おぢばでは三月四日から八日まで「学生生
 徒修養会大学の部」が同じく十日から十二日
 までは「学生生徒修養会高校卒業生コース」が
 開催されるに際し一人でも多くの学生がおぢ
 ばの理を戴いて御教えを学び信仰を深め合い
 教祖の手足としてお使い頂けるよう丹精に努
 めさせて頂きたいと存じます

又当大教会では来る三月二十八日から四月一
 日にかけて少年会本島団鼓笛隊が春季合宿を
 実施させて頂くに当り新たな指導体制のもと
 で一手一つに心を結び合い道の将来を担うよ
 うばくの育成に努めさせて頂く所存ござい
 ます

現在私共の身近かにお見せ頂く様々な厳しい
 事情を教祖百四十年祭へ向けて教会長夫妻を
 先頭によろばく一人ひとりが一丸となって目
 標を定めをいがけおたすけに励ませて頂く
 決意でございます

何卒至らぬ点届かぬ所は幾重にもお仕込みを
 賜わり世の中の治まりを願ひ日々御恩報じの
 心で努めさせて頂く一同の真実をお受け取り
 下さいますして一手一つに睦み樂しむ世の状へ
 とお導き下さいますよう一同と共に慎んでお
 願い申し上げます
 (原文のまま)

入社祭

立教187年2月の入社祭はありませんでした。

2月22日(木)
【香川県丸亀市】
 天候 曇時々雨
 最低気温 6.5℃
 最高気温 9.8℃
 平均気圧 1020.0 hPa
 平均湿度 90%
 平均風速 2.4 m/s
 日照時間 0.0 時間
 降水量 12.5 mm
 ※降水量は一日の総雨量

事情は、いび

立教187年2月、本島関係のお運びはありませんでした。

修養科第990期修了

(立教187年2月27日修了)
本 権 阿部祥大
【計1名】

教会長資格検定合格

(立教187年2月17日付)
吉松峰 吉野正晃
【計1名】

をびや許し

(立教187年1月分)
本 都 津久井しのぶ
本陽泉 吉田真梨子
【計2名】

誕生おめでとう

池田こみちさん(令和6年2月6日生まれ、安藝本中分教会)



大教会長動向

▼3月(予定)▲
2~3日、本米分教会
移転鎮座奉告祭

8日、たいぼく会

9日、宇野志げ子刀自合祀祭

10~12日、教会長資格検定講習

14日、本海分教会巡教

16日、本亀分教会巡教

22日、大教会月次祭執行

23日、大教会春季霊祭執行

24日、修養科総立まなび

25日、かなめ会委員会

26日、本部月次祭参拝

27日、本部春季霊祭参拝

かなめ会

28日、春の学生おちばがえり

30日、本部神殿奉仕当番

31日、鼓笛隊春季合宿

以上

人がぬどが...
神さんぬどやで



【教会の掲示板】
本島ドットコムよりダウンロードできます

布教部報告(2月分)

数字は本年の提出回数です

統計(1月1日~31日)

にをいがけ名簿提出教会(2月)		
樺太	2	本 攝
本 田	1	攝 泉
本 樺	2	フィリピン
本 室	1	本 太
本 都	2	本 萩
本 京	2	琴 浦
本 草	2	本 備前
本 護	2	本 府中
本 恵	2	沖 浦
本 恵明	2	崇 徳
本 日米	2	本 高
本 浜	2	本 宣道
本 米里	2	本 九
本 米浜	1	本 陽山
本 千代	2	本 新田
本 千賀	2	赤 峰
本 千治	2	雅 峰
本 千恵	1	豪 峰
計 54 教会	491 名	

おさづけ取次報告教会(2月)		
本 島	2	攝 津
樺 太	2	本 吹田
本 田	1	攝 泉
本 樺	2	本 太
本 室	1	本 萩
本 都	2	本 水島
本 京	2	安藝本中
本 道盛	2	本 備前
本 草	2	本 府中
本 恵	2	沖 浦
本 恵山	2	本 清水
本 恵明	2	崇 徳
本 日米	2	本 高
本 浜	2	本 九
本 米	2	本 小倉
本 米里	2	本 陽山
本 米浜	2	本 肥港
本 千代	2	本 新田
本 千賀	2	本 九台
本 千治	2	赤 峰
本 千恵	1	雅 峰
本 平濱	2	倉 峰
本 攝	2	栄 峰
計 68 教会	1,660 回	

教会名	初席	中席	雲子鐘	修養科	教人壽	検定講習
本 島	1	1		1		
本 都	1	1				
本 千代		1				
本 千嘉	2					
赤 峰		1				
吉 峰	1					
倉 峰	1					
大 駿 峰		1				
肥 後 八 峰		3				
合 計	6	8	0	1	-	-



今後の教会長登殿参列 (教会名一覧)

【登殿参列係】

- 立教 187年 4月 26日登殿参列
本東都・本恵・攝泉・攝南・本肥港・本豊後・本清保・本備前・エヌシー・台檀・本府中・雅峰・雄福峰・本岡崎・キャピタル
(順不同・割当 15名・登録 15名)
- 立教 187年 6月 26日登殿参列
本幹・本大塚・本桶川・本幸山・本埼玉・本清水・本京・本日米・本淀・撫川・本太・大雄峰・倉峰・霊峰・本水島・本宣道・馬木尾
(順不同・割当 18名・登録 17名)
- 立教 187年 9月 26日登殿参列
本岡・本草・本治・本攝・本小倉・安藝本中・本陽泉・本廣島・ポートランド・シータック・ウイルソン・本萩・神峰・別峰・實峰・仙峰・本室・ミッドウエスト
(順不同・割当 20名・登録 18名)
- 立教 187年 12月 26日登殿参列
琴浦・御幸濱・本萬代・本恵山・本柳台・本陽山・阿波本徳・本篠・南峰・雄山峰・本九台・本中國・本勇(順不同・割当 19名・登録 13名)

- 立教 188年 3月 26日登殿参列
本米里・本米浜・パシフィックコースト・本護・本静森・サウザンパシフィック・ホノルル・カカコ・キャッスル・ヒロ・マウイ・タミナル・栄星峰・大隅聖峰・本伯
(順不同・割当 15名・登録 15名)
- 立教 188年 7月 26日登殿参列
本千恵・本福・攝城・本吹田・攝竜・本海・マリナー・フィリッピン・ハリウッド・銀峰・都峰
(順不同・割当 11名・登録 11名)
- 登殿参列集合について
詰所で教服を着用し、午前7時30分写真の間集合してください。諸説明後、バスにて出発します。
※教服の貸出はありませんので、各自でご用意ください
※履物は詰所でご用意しますが、個人のものを持参してもかまいません
●該当月に登殿参列が出来ない場合は、各自で交代の話し合いを行い、決まった後は必ず登殿参列係へお知らせ下さい。
●登殿参列係：平井真治郎役員

宮森先生おてなoshi
大教会世話人・宮森与一郎先生による「おてなoshi」が2月25日午後3時より約1時間詰所4階講堂で行われ、過去最多の54名が受講しました。前回学んだ扇の手を復習したのち、みかぐらうた五下り目と六下り目を学びました。



ろくぢん (立教187年2月分)
▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼本権△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼崇徳分教会 ▼本高分教会 ▼ポートランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次
ご芳志に厚くお礼申し上げます

春季霊祭のご案内

【本島大教会】

3月23日、大教会で執り行われる春季霊祭に、左記の霊様が年祭に当たっておりますので、ご連絡申し上げます。

■一年祭
山崎美子刀目(本太)
藤山好子刀目(本島)

藤原正成主¹ (本府中)
宮路正道主² (霊峰)
鳥澤繁弉主 (ウイルソン)

■十年祭

澤杉匡巳主 (本米臺)
久尾重記主 (マウイ)
大上道吉主 (本権)
大上みさを刀目(本権)
高垣満寿夫主 (崇徳)

■五十年祭
柴田 稔主 (本柳台)
片山□志主 (本攝)
□は上輩が「竹」、下輩が「中」

■二十年祭

山根信和主¹ (仁徳)
松葉ツヤ子刀目(本島)
池田隆弘主(安藝本中)

磯野八郎主 (本島)
岡崎ヨ子刀目² (本港)
山下ムギエ刀目² (本肥港)
横山ライ刀目 (本福)
西山耕一主 (本室)

【計23霊】

■三十年祭

石村義子刀目 (キャピタル)
柴田富士子刀目(本柳)
リチャード・ミルス主¹ (キャピタル)

¹は、納骨のみ
²は、合祀のみ
それ以外は合祀と納骨あり

※なお、教名は連絡先であり、実際の所属とは異なる場合があります。



教会長夫妻おたすけ推進の集い

↓ 【年祭活動実行委員会】

- 日時：立教187年4月17日(水) 午後1時より
- 会場：本島詰所4階講堂
- 参加御供：1名につき500円
- 対象者：前回(1月25日)参加していない教会長ならびに配偶者、直属教会長が認めた者
- 講師：松村孝吉先生(本部准員)
- 参加申込書を4月14日まで大教会総務へご提出ください。
- 詰所の宿泊・食事の申込みは各自で詰所事務所へご予約ください。

鼓笛隊春季合宿

【本島団鼓笛隊】

- 第111回本島団鼓笛隊春季合宿
- ※今年は大教会で実施します
 - 集合：3月28日(木)夕刻まで集合
 - 解散：大教会近辺は3月31日(日)夕刻解散。関東分隊は3月31日天理宿泊後、4月1日関東へ移動。九州分隊は4月1日(月)朝解散。
 - 参加対象：令和6年度の小学1年生より高校3年生(幼稚園児不可)
 - ※初めての隊員も参加できます
 - 会場：本島大教会
 - 参加御供：一律4000円+送迎費2000円+フェリー代
 - 内容：鼓笛練習
 - 服装：練習着・帽子・ポシェット貸与。
※洗濯は28日~29日まで実施
 - 携行品：健康保険証のコピー、トレーナーやパーカー2~3枚(練習着の下に着用します)、下着、靴下、パジャマ、タオル、洗面用具、入浴道具、常備薬、室内練習靴、楽譜、ファイフ(1000円で販売)、マスク
 - 申込み：3月10日までに各分隊担当までご連絡ください。
 - ご相談、ご質問は 佐藤道子(090-7570-4807)まで

婦人会第106回総会

↓ 【婦人会本部】

- 日時：4月19日(金) 午前9時30分式典
- 場所：本部中庭

〈本島支部の集いについて〉

- 日時：4月18日夕づとめ終了後
- 場所：本島詰所4階講堂
- 内容：支部長挨拶、講話(斉藤かよ 本島支部委員長)
- 参加御供：一委員部1,000円

〈総会後、ふりかえりについて〉

- 日時：4月19日総会終了後
- 場所：本島詰所4階講堂
- 人数確認のため、所定用紙に記入の上、4月14日まで直轄ごと婦人会庶務へご提出下さい。
- 尚、19日ふりかえり終了後、お弁当をお渡ししますので、併せて人数をお知らせ下さい。

〈教祖誕生祭 おやさまへのお供え〉

- 手作りの品(おふきん、手芸品など)または賄い料
- 4月18日午前7時までに北棟2階婦人会事務局までお届け下さい

おてふり勉強会

【婦人会本島支部】

- 日時：3月22日(金)夕づとめ後
- 会場：大教会参拝場

MOMOの会

↓ 【婦人会本島支部】

MOMOの会とは、本島につながる子育て中の母親とその同年代の方が対象です

- ◆MOMOの会LINE公式にご登録下さい
- ◆鼓笛隊応援ひのきしん
- 期間：令和6年3月28日から31日
- 場所：本島大教会
- ◆接待作法勉強会
- 日時：令和6年3月30日
- 場所：本島大教会

↓ は、本島ドットコムより関連資料をダウンロードすることができます。トップページ>各種ダウンロード

春の学生おちばがえり

↓ 【本島学生担当委員会】

- 立教187年春の学生おちばがえり 一次代を担うようぼくへー
- 日程：3月27日午後4時詰所集合、開講式。午後6時夕づとめ参拝。午後7時春Fes参加(東西泉水プール前広場)。3月28日午前6時朝づとめ参拝。午前10時式典参加(本部中庭)。午前11時30分直属アワー(本島詰所)、別席。午後2時30分閉講式、解散。
 - 連絡先： 雲庵春彦(090-2515-8039) 横関茂治(090-1138-1690)
 - ※教区参加の方も直属アワー準備のため、事前にご連絡ください。

3月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：3月21日~23日
- 派遣：本九

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：3月25日~26日
- 派遣：渋谷①、崇徳①

〈鼓笛隊春季合宿：本島大教会〉

- 期間：3月28日~4月2日
- 派遣：本京①、琴浦①、本九②、本新田①、赤峰①

大教会3月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：3月22日大教会3月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法： メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：3月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。



<https://www.honjima.com/>